

防災ニュース

NO.
213

年頭の辞

予防行政の取組み紹介
～安心・安全に暮らせるまち静岡市消防局の予防行政～



2018. **1**



公益財団法人 日本防災協会
JAPAN FIRE RETARDANT ASSOCIATION

協会ニュース 33

年 頭 の 辞

消防庁長官 稲山 博司



平成30年の新春を迎えるに当たり、平素から地域の安心・安全を守るため、昼夜を分かたず消防防災活動にご尽力頂いております全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

我が国の消防は、皆様方のためまぬ努力の積み重ねにより、制度、体制、技術等各般に渡り着実な発展を遂げ、国民の安心・安全の確保に大きな役割を果たし

ており、国際的にも高い評価を頂いているところです。

さて、昨年を振り返りますと、2月の埼玉県内の大型倉庫火災等の大規模な火災をはじめ、7月の九州北部豪雨などによる、台風や集中豪雨による自然災害が多発した他、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが、何度も我が国近辺に飛来する事態となっており、そのうち2度にわたり、我が国の上空を通過する事態が発生した際に、Jアラートによる情報伝達が行われました。

このように、国民の安心・安全を脅かす災害は従前にも増して複雑多様化しており、消防庁では、今後の大規模災害に備えるとともに、様々な災害に対応できるよう、緊急消防援助隊及び常備消防力の充実強化はもとより、地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍推進、Jアラートも含めた防災情報の伝達体制の整備等

に取り組んでまいります。

また、3月に長野県内で発生した消防防災ヘリコプター墜落事故により、前途有為な多くの隊員を失いました。さらに、九州北部豪雨では、巡回活動中の消防団員が犠牲となりました。こうしたことは我が国の消防にとって大きな損失であり、消防職団員の活動時の安全確保対策も、積極的に推進してまいります。

本年は、昭和23年3月7日に消防組織法が施行され、市町村消防の原則に基づく今日の自治体消防制度が確立して以来、70周年を迎える記念すべき年です。全国の消防関係者の方々と力を合わせ、国民の安心・安全な生活を確保するという消防に課せられた使命の重要性を再認識し、更なる消防防災・危機管理体制の充実強化を図ってまいります。

予防行政につきましても、近年の火災を受けて、連動型住宅用火災警報器を隣接住戸の火災報知に活用する新たな取組みの検証や小規模な飲食店への消火器の設置の義務づけ等の施策を進めており、引き続き、火災の発生や拡大に関する原因究明、再発防止に全力で取り組んでまいります。

また、近年の住宅火災による死者数は1,000人近い高い水準で推移しており、このうちの7割近くを高齢者が占めていることも重要な課題です。住宅火災による死者は、寝具類や衣類、カーテン等に着火して火災が拡大したことによるものが多くなっています。

福祉施設や病院などをはじめとした特定防火対象物はもとより、住宅につきましても、火災による死者を減少させるためには、カーテン等に着火しにくい防災物品等を使用することが大変有効であり、消防庁としましても、防災物品等の使用拡大を積極的に推進しているところです。

皆様方におかれましても、我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展と、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりのため、より一層のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2 広域化から1年を経過して

平成28年4月1日に大きな期待を背負ってスタートした広域化運用開始から1年半が経過し、各分野でその効果が発揮されてきていることを実感していますし、もちろん実績としても顕著にあらわれてきています。

災害対応の充実という面では、消防総合情報システムにより一元管理された消防隊等を直近選定により出動させることにより、現場への到着時間の短縮317件をはじめ、部隊の増強による現場活動の充実強化、特殊部隊の投入、移動配備、従前の管轄区域を超えた柔軟な出動など、合計で925件の効果がありました。

予防行政においてもその効果は大きく、広域化した島田消防署、吉田消防署、牧之原消防署に予防業務を専門に行う毎日勤務職員を17名配置し、窓口業務充実のための体制を整備しました。

あわせて、事業所等への立入検査を積極的に実施した結果、防火対象物の立入検査は前年比978件の増加、危険物施設の立入検査も前年比183件の増加を達成しています。

また、静岡市火災予防条例が広域化した2市2町にも適用されることになったことで、特に、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が未設置である特定用途防火対象物を違反対象物として公表する制度により、16対象物を公表し、そのほとんどを違反是正につなげることにできたことは、期待以上の効果となりました。

しかし、これら多くの効果が表れると同時に、今後の課題も見えてきました。

広域化して1年半ほどであり、現在のところ大勢には影響はありませんが、事務等は旧静岡市消防局の方式に統一したため、広域化した消防本部に所属していた職員の中には戸惑いを感じている職員もいます。

1,000人規模の組織となり、勤務場所も広範囲になっているため、静岡市消防局の職員としての一体感の醸成が必要不可欠であり、そのためには、人事配置、合同訓練及び研修、幹部職員による巡視などを通じ、職員間の知識・技術の共有化、融和協調を図っていくことが重要だと考えています。



消防局庁舎（静岡市）

3 予防業務体制

当局の予防業務は、予防課（予防係・保安係・危険物規制係・火災調査係）と査察課（消防同意係・査察係）の2課6係、9消防署に配置された予防係で行っています。

予防課においては、予防係が火災予防に係る企画及び調整、防火管理者の指導育成、防火協力団体の指導育成等を、危険物規制係が危険物許可施設の審査・検査等を、保安係が火薬類取扱いに関する規制、火薬類取締法に基づく査察等を、火災調査係が火災原因の調査、り災証明書等の交付等を行っています。

査察課においては、消防同意係が建築確認の同意事務を、査察係が査察の計画及び違反対象物の処理を担当し、各消防署の予防係は管内防火対象物や危険物施設の査察及び防火指導、消防用設備等の審査、検査、各種届出事務などを行っています。

この体制で、火災を未然に防ぐための対策に取り組んでいるところであり、な

かでも力を入れている高齢者の防火対策に関しては、75歳以上の1人暮らしの方を対象とした防火訪問等により、住宅用火災警報器の設置や防災品を取り入れた身の回りの防災化などによる防火の推進をお願いしています。

また、今年度、「火薬類取締法」に係る事務が県知事から権限移譲されたことにより、許認可の審査事務、各種届出事務、煙火製造所及び火薬庫の保安検査、トンネル工事現場及び採石場等の火薬類消費場所への立入検査の実施など、火薬類による災害の防止及び事業者への保安体制の強化に努めているところです。

4 人材育成

当局の予防業務における特徴的な人材育成の制度として、「火災調査アドバイザー制度」が挙げられます。

火災調査は、現場調査から鑑識、鑑定、書類作成、情報開示等に至るまで専門的な知識と能力が求められます。

火災調査における、将来のスペシャリストを育成するために、職員の火災調査知識及び技術の向上、専門的知識の育成を目的として火災調査員資格制度として確立したものです。

この制度により、現在114人のアドバイザーが誕生し、各消防署において若手職員等に対して火災調査に関する啓発、助言及び指導を行い、火災調査業務に対する知識・技術の向上に加え、職員のモチベーションの高揚など、火災調査のリーダーとしての活躍が期待されています。

あわせて火災調査試験室を設置、火災調査に必要な機器類の整備を進めており、火災調査の知識、技術は飛躍的に向上してきています。

5 おわりに

今後の予防行政に求められるものは、統一的な法令指導であると考えます。

そのためには、職員個々の予防技術の向上はもちろんですが、各種事例における統一的なマニュアルの作成と研修が必要です。

ただし、マニュアルに従った正しい処理をしたとしても、その本来の意味を理解せず、ただただマニュアルどおりの単純な処理をしていては、市民の理解を得ることは難しいと思われます。

さらなる市民生活の安心安全が強く求められる時代の中で、予防行政に携わる職員はその本来の意味を理解し、現場の状況を的確に把握したうえで、正確な予防知識に裏付けられた丁寧な助言指導をしていく必要があります、その結果として市民の皆様は合理的な対応策を判断することができます。

そのような考えのもと、予防行政に従事する職員の更なる予防技術の研鑽に大いに期待するところです。

今後も職員一同が一丸となり、より一層の市民サービスの向上に努めてまいります。



静岡市消防局消防キャラクター

こんなところに防災製品

(公財)日本防災協会 広報室

～JR西日本「TWILIGHT EXPRESS瑞風」に防災寝具～

本年6月に運転を開始した「TWILIGHT EXPRESS瑞風」(みずかぜ)は、「美しい日本をホテルが走る。～上質さの中に懐かしさを～」をコンセプトにJR西日本が運行している寝台列車で、すでに多くのマスコミ等にも取り上げられ、話題となっています。この客室に防災製の寝具が採用されているとの情報を得て取材させていただきました。

この瑞風には、(株)大丸松坂屋百貨店が監修し、西川リビング(株)製造による防災

羽毛ふとんと防災ベッドパッドが、全ての客室に採用されています。この寝具についてJR西日本の関係者は「快適な旅を楽しんでいただくには、快適性に加えて安心と安全が絶対的な条件になります。ご提案いただいた防災製の寝具を採用させていただきましたので、お客様には、安心して快適な列車の旅をお楽しみいただけたと思います。」と話されており、この防災製の寝具が、充実した楽しい旅を陰で支えてくれていることを感じました。乗車された際には、布団が防災製であることをぜひ確認してみたいはいかがでしょうか。



TWILIGHT EXPRESS瑞風 (車両)



防災寝具



客室例 1



客室例 2



平成30年 新年賀詞交歓会開催



丸山理事長挨拶

平成30年1月12日（金）千代田区一ツ橋の如水会館に於いて、日本防災協会主催による「平成30年新年賀詞交歓会」が行われました。

本年も多数のご来賓をはじめ、会員企業、消防機関・団体等、約250人の方々にご参会頂きました。

会の進行は丸山理事長挨拶の後、消防庁長官稲山博司様、東京消防庁消防総監村上研一様よりご祝辞をいただき、在日米海軍司令部地域統合消防隊統合消防長ロドルフォ・ゴンザレス様よりスピーチ、危険物保安技術協会顧問・次郎丸誠男様の乾杯のご発声により歓談に移り、短い時間ではありましたがなごやかに新年の懇親の場となりました。その後、協会評議員である岡本義雄パン・リビング株式会社社長の中締めにより盛会裏に終了いたしました。



乾杯のご発声の
次郎丸誠男危険物保安技術協会顧問



中締めの岡本義雄
パン・リビング（株）社長

防災薬剤／三酸化二アンチモンの 健康障害防止措置の強化について

(公財) 日本防災協会 技術部

2017年、防災品のカーテン、布製ブラインド、工事用シート、テント類・シート類・幕類等の主として塩化ビニルやアクリル系の難燃性素材を更に難燃化するために広く使用されている三酸化二アンチモンについて、労働者の健康障害防止措置の強化を目的とした政省令の改正が行われました。

これは、三酸化二アンチモンの製造または取扱を禁止するものではなく、労働者への曝露リスクを低減することなどの措置を事業者に義務付けるものですが、三酸化二アンチモン粉体に加え、三酸化二アンチモンを重量の1%を超えて含有する製剤（スラリー）も規制の対象となり、広範囲の事業所に影響が及ぶことから、改正の内容と必要な措置について概要を報告します。

厚生労働省では、化学物質の有害性調査や事業場における曝露実態の把握により、労働者への健康障害リスクが高いと評価された化学物質については健康障害防止の措置を強化していますが、今回リスク評価の結果、三酸化二アンチモンを特定化学物質障害予防規則の対象に追加するとともに、経皮吸収防止対策を強化するため、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則、特定化学物質障害予防規則が改正されました。

- ・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令（H29年政令第60号）
- ・特定化学物質障害予防規則等の一部を改正する省令（H29年厚生労働省令第60号）
- ・H29年3月29日及び4月27日公布
- ・H29年6月1日から施行

1. 三酸化二アンチモンの用途

80%以上が各種プラスチック、ゴム、繊維等の耐防火安全性強化のための難燃助剤として用いられている。

主用途である難燃性プラスチックの用途は、電気・電子機器、OA事務機器、住宅建材、自動車・車両関係あるいは電線被覆剤等として使用されており、プラスチック自体の特性を損なうことなく、出来るだけ少ない添加量でその効果を発揮させるために、ハロゲン系難燃剤と三酸化二アンチモンの併用が主流となっている。残りの20%ほどはポリエステルなどの重合触媒、ガラスの清澄剤、顔料等に用いられている。

2. 検討の経緯

時期		検討内容
2008 (H20)		リスク評価対象物質に選定 (アンチモン (Sb) 及びその化合物)
2009 (H21)	1-3月	有害物暴露作業報告 (アンチモン (Sb) 及びその化合物)
2011 (H23)		初期リスク評価実施 (アンチモン (Sb) 及びその化合物)、暴露実態調査
2012 (H24)	8/1	初期リスク評価書 (アンチモン (Sb) 及びその化合物) 公表 ・労働者への健康リスクがあるとされ、詳細リスク評価が必要と判定 ・発がん性評価及び高曝露作業が三酸化二アンチモン取扱作業のみであったことから、三酸化二アンチモンに限定して詳細評価に移行することになった。
2013 (H25)	5/2	三酸化二アンチモン有害性評価小検討会：2次評価値；0.1 or 0.5 mg/m ³ の検討
	7/24	リスク評価検討会：詳細リスク評価書公表 (中間報告) ・2次評価値を決定する為の情報不足しているため継続検討となった。
2014 (H26)	5/8	三酸化二アンチモンの有害性評価小検討会：2次評価値を0.1 mg/m ³ (日本産業衛生学会許容濃度) に決定 ・三酸化二アンチモン含有プラスチックの取扱作業について追加の曝露調査実施
2015 (H27)	3/20	詳細リスク評価検討会：2次評価値0.1 mg/m ³ として追加の暴露実態調査も合わせて、詳細リスク評価を実施
	8/12	詳細リスク評価書公表 ・リスク評価の結果、三酸化二アンチモンの製造、取扱作業は高いリスクがあるとされ健康障害防止措置を検討すべきと結論付られた。
	8/31	化学物質による労働者の健康障害防止措置に係る検討会がスタート
2015 (H27) (2016 (H28)		リスク作業実態調査 (事業者等から公開・非公開ヒアリング) ・健康障害防止措置の検討、発散抑制装置・保護具メーカーヒアリング、措置毎の導入必要性、規制の影響分析、処置の導入方針決定
2016 (H28)	8/29	第5回健康障害防止措置検討会において特定化学物質障害予防規則の「管理第2類化学物質」かつ「特別管理物質」に指定し、発散抑制装置、作業環境測定、特殊健康診断及び作業記録保存 (30年間) 等を講じることが必要とされた。
2017 (H29)	1月	改正案についてパブリックコメントを実施
	3月	改正政令、規則の公布
	6/1	労働安全衛生法の政省令改正、規則の施行 (一部経過措置 (1年間)：作業主任者、局排装置、作業環境測定)

3. 三酸化二アンチモンの有害性評価結果の概要 (抜粋)

◎発がん性：ヒトに対しておそらく発がん性がある。

◎刺激性／腐食性：あり

◎眼に対する重篤な損傷性／又は眼刺激性：あり

4. 規制の対象と影響範囲 (防災品事業者関連)

紛 体：精練メーカー、防災薬剤メーカー、紛体取扱加工メーカー (ターポリン加工等)
ウェット・スラリー：防災薬剤メーカー、防災加工メーカー (三酸化二アンチモン入薬剤を購入し加工)

触 媒：三酸化二アンチモンを触媒に使用しているメーカー (ポリエステル等)

研 究 用：少量でも規制の対象

5. 主な改正内容

政省令	改正内容	必要な措置
労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令	三酸化二アンチモン及び三酸化二アンチモンを重量の1%を超えて含有する製剤その他の物を、特定化学物質の第2類物質とする。	使用し又は取扱う場合、 ・作業主任者の選任 ・作業環境測定の実施 ・特殊健康診断の実施
	三酸化二アンチモン等を製造又は取扱う業務を、安衛法第66条第2項後段の健康診断の対象業務とする。	・常時従事労働者の医師による特殊健康診断の実施 ・配置転換後労働者も同様
	経過措置	施行後1年間（H30年5月31日まで）は ・作業主任者の選任を要しない。 ・作業環境測定の実施を要しない。
特定化学物質障害予防規則等の一部を改正する省令	当該物質を管理第2類物質として規定	・作業環境測定の実施、結果の評価及び結果の記録を30年間保存
	三酸化二アンチモン等に係る適用除外	・樹脂等により固化された物を取扱う業務は適用除外 注）液体状の樹脂等（スラリー状、ペースト状を含む）適用除外に含まれないが、それが乾燥等により固化されたものは含む。
	定期自主検査を行うべき機械等	全体換気装置に設置を義務付ける除塵装置を追加
	三酸化二アンチモン等を特別管理物質として規定	・作業場内掲示 ・作業環境濃度測定結果、労働者の作業記録、健康診断記録を30年間保存 ・事業廃止の際にはこれらの書類を所轄労働基準監督署長に提出
	三酸化二アンチモンに係る措置	・床等の掃除（窓枠、棚を含む） ・作業に使用した器具、工具、呼吸用保護具、作業衣等を作業場外持ち出し時、付着三酸化二アンチモン等を除去 *他の作業場と隔離し作業場間にエアシャワー室設置 *拭き取り *作業場出入口に粘着マット設置 等、汚染の程度に応じて適切な方法を用いる。 ・作業主任者は、更衣時に飛散した三酸化二アンチモンを吸入しないよう、作業方法を決定し労働者を指揮 ・湿潤状態（スラリー化、溶媒に溶解を含む）で取扱うときは局所排気装置等の適用を除外 ・三酸化二アンチモン製造炉等におけるかき落とし、湯出し作業は、全体換気装置設置、呼吸用保護具使用、作業従事者以外立入禁止措置を講ずれば、局所排気装置等は不要

特定化学物質障害 予防規則等の一部 を改正する省令	製造又は取扱業務に係る特 殊健康診断	①業務経歴の調査（業務従事者健診のみ） ②作業条件の簡易な調査（業務従事者健診のみ） 前回の検診以降の作業条件の変化、環境中の濃度に関 する情報、作業時間、曝露の頻度、粉塵発生源の距離保 護具の使用状況 ③三酸化二アンチモンによる咳・たん、頭痛、嘔吐、 腹痛、下痢、アンチモン皮疹等の皮膚症状等の他覚症 状又は自覚症状の既往歴の有無の検査（下線部は業務 従事者のみ） ④咳・たん、頭痛、下痢、アンチモン皮疹等の皮膚症 状等の他覚症状又は自覚症状の有無の検査 ・医師が必要と認める場合に実施する検査 ⑤尿中のアンチモン量測定（業務従事者健診のみ） ⑥心電図検査
	二次健康診断	①作業条件の調査（業務従事者健診のみ）三酸化二 アンチモンへの曝露状況の詳細（当該労働者、衛生管 理者、作業主任者等関係者から聴取） ・医師が必要と認める場合に実施する検査 ②胸部のエックス線直接撮影又は特殊なエックス線撮 影（コンピューター断層撮影CT）による検査 ③喀痰の細胞診又は気管支鏡検査 ・呼吸器系の障害（腫瘍等）を把握するための検査

6. 特定化学物質障害予防規則の規定に基づく厚生労働大臣が定める性能等の一部を改正する告示

（H29年厚生労働省告示第186号）

H29年4月27日公示、H29年6月1日より適用

告示項目		基準
三酸化二アンチモンの作業環境 測定	作業場に設ける局所排気装置のフ ードの外側における濃度（抑制濃度）	アンチモンとして0.1 mg/m ³
作業環境測定基準	試料採取方法	濾過補修方法
	分析方法	原子吸光分析方法
作業環境評価基準	管理濃度	アンチモンとして0.1 mg/m ³

7. 参考

（1）用語等の説明

初期リスク評価：2段階リスク評価方式を導入しており、曝露評価と有害性評価に基づいて、曝露レベルが二次評価値を超える場合、労働者の健康障害に係るリスクが高いと判断されることから、詳細リスク評価に移行する。

詳細リスク評価：曝露レベルが二次評価値を超える場合、労働者の健康障害に係るリスクが高いと判断されることから、必要な行政措置のレベル及び管理のあり方を検討する。

一次評価値：労働者が毎日、当該物質に曝露した場合に、これに起因して1万人に1人の割合でがんが発生するであろうと推測される濃度。

二次評価値：労働者が毎日、当該物質に曝露した場合に、これに起因して労働者が健康に悪影響を受けることはないであろうと推測される濃度。

二次評価値の決定：許容濃度又は曝露限界値（TLV）が設定されている場合、原則として次のいずれかの濃度を選定する。

a) 日本産業衛生学会が勧告している許容濃度

b) 米国産業衛生専門家会議（ACGIH）が提言している曝露限界値（TLV）

特定化学物質：労働者に健康障害を発生させる（可能性が高い）物質として、労働安全衛生法施行令別表第3で定められた化学物質。

第1類物質：がん等の慢性障害を引き起こす物質の内、特に有害性が高く、製造工程で特に厳重な管理（製造許可）を必要とするもの。（：塩素化ビフェニルなど）

第2類物質：がん等の慢性障害を引き起こす物質の内、第1類に該当しないもの。

管理第2類物質：第2類物質の内、特定第2類物質、エチルベンゼン等及びオーラミン等以外のものをいう。（：アクリロニトリル、塩化ビニル、重金属類等多数）

特定第2類物質：第2類物質の内、特に漏洩に留意すべき物質。

第3類物質：大量漏えいにより急性中毒を引き起こす物質。（：塩化水素、硫酸、アンモニア等）

特別管理物質：第1類物質と第2類物質の内がん原性物質又はその疑いがある物質。名称、注意事項などの掲示や、空气中濃度の測定結果と労働者の作業や健康診断の記録を30年間保存すること、事業廃止の際にはこれらの書類を所轄労働基準監督署長に提出することが求められている。

(2) 三酸化二アンチモンの基本情報

名 称：三酸化二アンチモン

化 学 式： Sb_2O_3

分 子 量：291.5

CAS番号：1309-64-4

安 衛 法：名称等を通知すべき有害物

外 観：白色の結晶性粉末

沸 点：1550℃（一部昇華）

融 点：656℃

溶解性（水）：0.0014 g / 100ml（30℃）

蒸 気 圧：130Pa（574℃）

生 産 量：6,845,800kg（2010年）（アンチモン化合物として）

(3) 詳細情報／厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000163262.html>

平成29年度 消防機器開発普及功労者表彰式開催される

(公財)日本防災協会

平成29年度消防庁長官表彰式が平成29年11月2日（木）に明治記念館2階「蓬莱の間」で開催され、消防機器、消防設備等の分野でそれぞれ功績のあった方々が表彰されました。

消防庁長官表彰のうち、消防機器開発普及功労者表彰は、永年にわたり消防機器等の開発、製造、改良、施工、販売及び普及に貢献し、他の模範となる方々等を消防庁長官が表彰するものです。今年度は30名の方が受賞されました。このうち、防災関係では4名の方が受賞されました。



平成29年11月2日 平成29年度消防機器開発普及功労者表彰 於 明治記念館

防災関係の受賞者は次の方々です。

消防機器開発普及功労者表彰受賞者（防災関係のみ、五十音順）

氏 名	所 属	役 職
稲垣 京祐	株式会社稲垣商会	代表取締役
川合 泰三	株式会社サニクリーン	専務取締役
澤村 温也	M O L Z A 株式会社	代表取締役社長
田原 績	株式会社田原屋	代表取締役

この消防庁長官表彰式では、消防庁長官の式辞の後、消防機器開発普及功労者（防災関係者4名を含む）などそれぞれの業態の表彰受賞者の氏名が読み上げられ、消防庁長官から各業態の代表受賞者に対して表彰状が授与されました。

その後、全国消防長会会長の祝辞（代読）が述べられ、表彰式は盛会裡に閉会となりました。

今回の表彰式には、受賞関係者を始め、消防機関、消防防災関係団体、消防防災事業者、消防専門誌等多数の方々にご参加いただきました。



防災関係の受賞者の方々
(左から田原績氏、川合泰三氏、稲垣京祐氏、澤村温也氏)

平成29年度 防災関係者表彰式開催される

(公財)日本防災協会

日本防災協会は、平成29年11月21日（火）、午後4時30分から明治記念館1階「芙蓉の間」において、平成29年度防災関係者表彰式を開催しました。

この表彰は、永年に亘り、防災物品、防災製品並びに防災薬剤の普及業務及び品質管理業務の推進に尽力された個人等に対して、(公財)日本防災協会理事長が行うものです。

具体的には①永年に亘り、防災品等の普及指導で特別な功労のあった方、②永年に亘り、自社防災品等の品質管理が優秀で他の模範となると認められる方、③新規の防災品等の開発などで特に功労が認められる方として21名の方々が表彰を受けられました。

表彰式では、丸山理事長の式辞の後、受賞者にそれぞれ表彰状と記念品が授与されました。その後、来賓としてご出席の消防庁長官 稲山博司様並びに全国消防長会会長 村上研一様からご祝辞をいただきました。

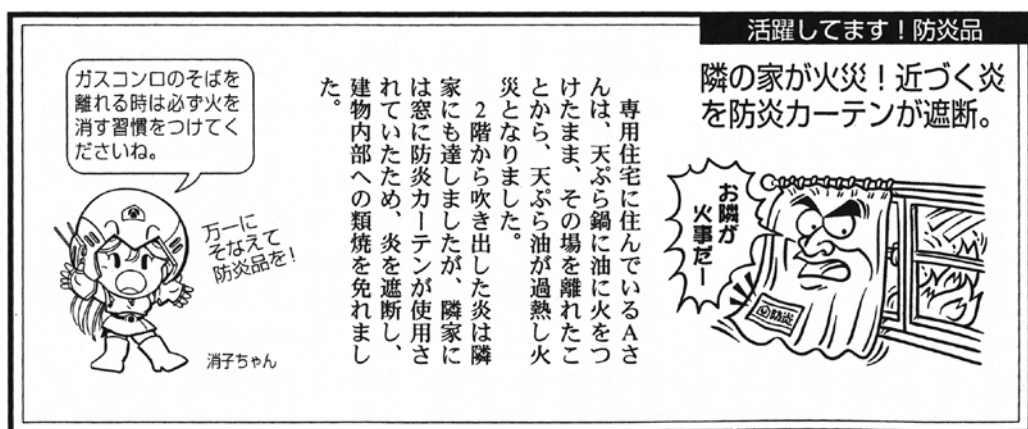
受賞された方々には、これらのご功績に対し、心からお祝いと感謝を申し上げますとともに、この受賞を契機に、今後も益々、防災品の普及啓発にご尽力をいただけますことを期待いたしております。



防災関係者表彰を受賞された方々

	清水 雅文	原 義武	坂東 克邦	山口 篤樹	佐々木 篤	大坪 與七郎	
武部 浩	吉良 雅敏	堀木 敏幸	小野寺 久治	谷口 全亮	野口 久栄	上田 孝治	桜井 彰一
伊藤 秋生	前田 尚利	全国消防長会会長 村上 研一	理事長 丸山 浩司	消防庁長官 稲山 博司	常務理事 渡邊 洋己	鳥居 寿一	廣田 優希

前頁／記念写真・お名前（敬称略）



防災普及に一役買っています

(公財)日本防災協会 広報室

～日装連・静岡県インテリア事業協同組合富士宮支部が消防フェスに参加～

静岡県インテリア事業協同組合富士宮支部では市民が集まる消防フェスティバル会場において防災品を出展し、普及をアピールするとの情報を得て訪れてみました。



11月25日（土）快晴のもと、世界遺産の富士山を間近に仰ぐ富士宮市山宮の「ふじざくら球技場」で富士宮市消防本部が主催する市制施行75周年記念事業「消防フェスティバル2017」の会場には、様々なアトラクションを目当てに5,000人を超える市民が集いました。出展ブースには防災と非防災のカーテンを展示したり、訪れた市民の皆さんに対して当協会が提供貸与したチラシや燃焼比較の映像パネルを見せながら、組合員の皆さんが防災品の有効性・必要性につい

て熱心に説明していた姿が印象的でした。



このように春・秋には火災予防運動事業として種々のイベントが全国各地で開催されますが、当協会では、チラシ等配布計画がある消防本部等からの協力要請を受け、チラシやティッシュ等提供し、住宅防火対策としてできる範囲で協力しておりますので気軽にご相談ください。

広島県内の特別支援学校に防災製品を寄贈

(公財) 日本防災協会

平成30年1月12日（金）広島県庁で開催された県内特別支援学校長会の会議に先立ち、各校の学校長の皆様が集合するなか、当協会から広島県特別支援学校長会の河野啓会長様に対して防災製品寄贈目録を贈呈しました。

この度は、配付を希望する特別支援学校16校に対して防災エプロンと防災腕カバーをセットにして合計125セットと125着の防災製割烹着を寄贈させていただきました。各校長先生等がご臨席されての目録贈呈式では、着衣着火火災における防災製品の有効性・必要性について説明し、河野会長様からは「防災製品を通じ、子供たちの防災教育の一つとして、火災から身を守ることを教えてゆきたい。代表して感謝申し上げます。」との言葉を頂きました。

当協会から特別支援学校への支援事業は、調理実習での活用を目的に平成24年度に開始以来、7都道府県の242校に配付しており、今年度は、広島県内の学校に寄贈させていただきました。この寄贈により調理実習で防災製品を活用する生徒に加えて、先生方や保護者の皆さんの防災製品に対する認識が高まることも期待され、防災品の普及促進効果が大きい認められるものです。当協会では、引き続き予算の許される範囲内での寄贈を考えてまいります。



近藤次長から河野広島県特別支援学校長会会長へ目録を贈呈

国立大学法人 信州大学との共同研究について

(公財) 日本防災協会

日本防災協会は、熱溶融性繊維の防災性能試験（以下「コイル法試験」）における燃焼性状について、国立大学法人信州大学繊維学部若月准教授の研究チームと共同研究を行っています。



信州大学繊維学部外観

コイル法試験については、試験環境や試験要領等、試験結果に影響を及ぼすおそれがある要因が数多く存在しており、より高い再現性を確立するためにはそれらの要因一つ一つについて検証を進めていく必要があります。

本年度の共同研究は、試験開始後最初の接炎から2回目接炎までの間における試験体の燃焼過程である①バーナーの炎から試験体への熱の伝わり、②試験体の溶融と着火、③燃焼の継続性、④消炎への経過に焦点をあて、コイル法試験の改善策を検討するための要素に関わる基礎研究を行っています。



コイル法試験の研究実施状況



学生による研究進捗状況説明

本研究において得られた要素は、来年度以降も引き続き研究を進め、試験結果に及ぼす影響とその対策を追究することにより、コイル法試験の再現性の確立を図ると共に、更なる精度の向上に努めてまいります。

平成29年度

防災加工専門技術者講習修了証の交付（大阪会場）

（公財）日本防災協会 管理部

平成29年度防災加工専門技術者講習実施の結果、次表の方に講習修了証を交付しました。

氏 名	都道府県名	氏 名	都道府県名
奥村 政子	岐阜県	東浦 宏至	大阪府
中田 千栄	大阪府	工藤 孔介	大阪府
祖父江 敬一	愛知県	相原 勇貴	大阪府
有岡 徳昭	岡山県	廣瀬 尚暁	滋賀県
藤井 宗徳	岡山県	樋田 亜希子	愛知県
窪田 貴司	滋賀県	田中 隆彦	大阪府
阪中 教恵	大阪府	坂口 浩朗	大阪府
青木 啓展	愛知県	和田 依子	大阪府
田中 大樹	福井県	上野山 裕朗	大阪府
小林 幹夫	福井県	隅谷 秀三	石川県
上手 裕也	岡山県	中林 伊織	京都府
杉本 健	岐阜県	川村 正芳	新潟県
小野 巨樹	兵庫県	田中 完季	大阪府
加藤 泰文	北海道	神山 真由	奈良県
宮崎 禎和	北海道	寺林 真樹子	奈良県
小林 弘倫	広島県	牧 純平	大阪府
香川 浩志	愛知県	竹本 愛子	京都府
横井 謙	愛知県	石山 重徳	京都府
山根 雄二	広島県	宇田 悠佑	奈良県
山根 牧子	広島県	平澤 哲哉	長野県
高橋 佑佳	福井県	今井 聖	長野県
伊藤 友香	福井県	小椋 純平	愛知県
菊池 真里奈	福井県	西本 満彦	大阪府
星野 倫子	東京都	小竹 宏嗣	福井県
清水 孝志	愛知県	植木 貴文	広島県
真田 勝己	大阪府	梶元 英彰	和歌山県

平成30年度の防災講座の開講のご案内

(公財)日本防災協会 総務部

住宅防火対策については、消防庁はじめ消防関係機関等において様々な取組が行われております。しかしながら、全国の住宅火災による死者は、毎年1,000人前後で推移しており、そのうち、特に高齢者の占める割合は、約70%で年々増加する傾向にあります。

このような状況の中で、当協会では高齢者等の火災による死者の低減を図るため、平成20年度から火災予防行政を担う消防職員・消防団員等を対象に防災に関する正しい知識を深めて頂くことを目的とした防災講座を全国各地で開催してまいりました。その後、講座の対象を女性防火クラブ、防災ボランティア組織、老人クラブや消費者団体等の方々にも広げ、消防機関と連携しながら、防災品の普及広報に努めております。その結果、火災の被害抑制効果が認められる各種防災品に対する認識が、徐々にではありますが、市民に浸透してきております。平成29年度は100箇所を超える講座開催で、広く防災品に対する知識等を深めて頂いております。平成30年度においても、各方面からの開講の要望に応え、年間を通して随時募集してまいります。今まで講座開講の実績のない消防学校や消防本部、その他の関係団体等における開講を歓迎いたします。開講に当たっては、主催者に受講者と会場を準備して頂き、当協会が講師及び研修テキストの準備をいたします。開講に伴う講師の派遣費用（旅費等）及び研修テキスト費用につきましては、当協会が全て負担いたします。

開催のご案内、申込み書等は1月下旬に各消防本部、消防学校宛に郵送しており、また、協会ホームページにも掲載しています。講座は下記の要領に基づき開講しますが、ご不明な点又は疑問等ございましたらどのようなことでも結構ですので、お気軽にご相談下さい。

1 講座開講の申込み

開講を希望する①都道府県又は政令指定都市消防学校、②消防本部、③その他の機関等から電話又はメールにより担当までご連絡下さい。

2 講座コース

(1) 専門コース（消防職員等）

- ① 防災制度
 - ② 防災技術
 - ③ 防災の効果等
- } 2時間～3時間を超えない程度

(2) 一般コース（1時間から1時間30分程度）

- ① 身の回りの防災化の推進
 - ② 防災・非防災の比較映像等
 - ③ 燃焼比較実験
- } 1時間～1時間30分程度

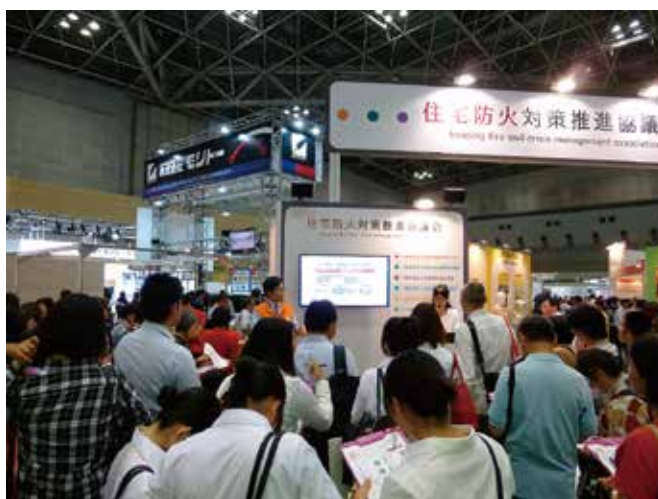
平成29年度 住宅防火対策推進協議会の 展示会・シンポジウムに出展参加しました

(公財)日本防災協会 広報室

平成29年度も住宅防火対策推進協議会・消防庁主催の展示会・シンポジウムに出展参加しました。

平成29年9月27日(水)から29日(金)まで東京ビッグサイトに於いて「第44回 国際福祉機器展H.C.R.2017」が開催され、住宅防火対策推進協議会の一員として協議会ブースに出展参加しました。

この展示会は世界15か国・1地域から530社が出展する、アジア最大の総合福祉機器展となっており来場者数も毎年10万人を超え、今回も3日間で約12万1千人の入場者を数えました。



住宅防火対策推進協議会ブース

高齢者・障がい者の自立した生活、社会参加を促進するためには、家庭や病院、福祉施設等での生活を支援するさまざまな福祉機器は大変重要な役割を担っています。この展示会では車いすや介護ベッドをはじめ、食品・衣類・IT関連などから福祉車両・住宅改修に至るまで様々な関連情報をご覧いただける展示会となっています。



日本防災協会での各種防災展示品

住宅防火対策推進協議会として展示ブースを構成し各団体が高齢者、障がい者の方々を火災被害から守る為に必要な情報展示をしていて、「住宅防火クイズ」を実施し来場者の方々にご参加いただき、ブース内を回って答えを探しながら住宅防火に役立つ情報を知ってもらえるよう、又、各団体とも実物に触って使い方などを学べるような展示をしています。



来場者で賑わう協議会ブース

また平成29年度の住宅防火防災推進シンポジウムは総務省消防庁主催が2ヶ所、住宅防火対策推進協議会主催で3ヶ所、ケーブルテレビによる地域の住宅防火広報として4ヶ所の計9ヶ所での開催となります。

このシンポジウムは住宅防火対策の重要性を周知し、住宅用火災警報器、防災品、消火器、住宅用消火設備等の普及を図るとともに、家庭の地震対策も含めた住宅防火防災対策の積極的な推進を目的としています。



横浜市民防災センターでの第100回シンポジウム

シンポジウムの内容としては「住宅の防火・防災対策」について日本大学大学院教授、東京大学・東京理科大学名誉教授の菅原進一氏の基調講演、タレントのダニエル・カール氏による「防災がんばっぺ」、各地元の消防本部を含めてのパネルディスカッション、住宅防火推進協議会各団体の展示他、各開催本部の特徴を生かした内容で住宅防火防災について市民の皆様に必要な知識、情報をお伝えする機会となっております。



音楽隊と消防庁マスコット



防災協会ブースでの燃焼比較実験の様子

消防庁主催 共催本部 横浜市消防局
開催日 平成29年11月11日（土）
開催場所 横浜市民防災センター

共催本部 浦添市消防本部
開催日 平成30年3月4日（日）
開催場所 浦添市てだこホール

住宅防火対策推進協議会 共催本部 遠賀郡消防本部
開催日 平成29年11月18日（土）
開催場所 岡垣サンリーアイ

共催本部 尼崎市消防局
開催日 平成30年2月3日（土）
開催場所 あましんアルカイックホール

共催本部 幡多中央消防組合消防本部
開催日 平成30年2月17日（土）
開催場所 四万十市立文化センター

ケーブルテレビによる住宅防火広報

共催本部 伊万里・有田消防本部
収録開催日 平成29年8月26日（土）
開催場所 伊万里市民センター

共催本部 新城市消防本部
収録開催日 平成29年9月3日（日）
開催場所 新城市消防防災センター

共催本部 加古川市消防本部
収録開催日 平成29年11月3日（金）
開催場所 加古川グリーンプラザべふ

共催本部 船橋市消防局
収録開催日 平成30年2月24日（土）
開催場所 船橋市民文化ホール

平成30年2月以降開催の「住宅防火防災推進シンポジウム」にも是非ご来場いただけますよう宜しくお願いいたします。

一般公開のお知らせ

消防庁 消防大学校・消防研究センター
日本消防検定協会
一般財団法人 消防防災科学センター

消防大学校・消防研究センター、日本消防検定協会及び一般財団法人消防防災科学センターでは、平成30年度の科学技術週間にあたり、一般の方々に試験研究施設を公開するとともに、消防用機械器具・消防防災の科学技術に関する研究の展示、実演等を下記のとおり行いますので、皆様お誘い合わせの上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日 時

平成30年4月20日（金）
午前10時から午後4時まで
入場無料

2 場 所

消防大学校・消防研究センター
（東京都調布市深大寺東町4-35-3）
日本消防検定協会
（東京都調布市深大寺東町4-35-16）
※（同一敷地内にあります。）

3 公開内容

【消防大学校・消防研究センター】

軽油の燃焼実験、可燃性液体火災の消火実験、津波風水害対策用水陸両用バギーの実演、石油タンクの安全性、糸魚川市大規模火災の紹介、原因調査室の業

務紹介、消防車両の展示等

【日本消防検定協会】

消火器・屋内消火栓の操作体験、住宅用消火器による消火実演及びエアゾール式簡易消火具の消火体験、住宅用防災警報器の展示と実演等

【消防防災科学センター】

避難所HUG（風水害版）の実演、放火対策GISの実演、平成29年7月九州北部豪雨災害の被害や災害対応の状況を写真などで紹介

4 交通機関

- (1) JR中央線吉祥寺駅南口下車、「深大寺」「野ヶ谷」「調布駅北口」行きバス（6番乗り場）で「消防大学前」下車
- (2) JR中央線三鷹駅南口下車、「野ヶ谷」行きバス（8番乗り場）で「消防大学前」下車
- (3) 京王線調布駅北口下車、「杏林大学病院」行きバス（14番乗り場）で「東町3丁目」下車、徒歩5分

5 問い合わせ先

■消防研究センター 研究企画室

電話 0422-44-8331（代表）

ホームページ <http://nrifd.fdma.go.jp/>

■日本消防検定協会
企画研究部情報管理課
電話 0422-44-7471 (代表)
ホームページ <http://www.jfeii.or.jp/>

■一般財団法人 消防防災科学センター
総務部
電話 0422-49-1113 (代表)
ホームページ <http://www.isad.or.jp/>

平成 29 年の一般公開の様子



可燃性液体火災の消火実験



放火対策GISの実演



屋内消火栓の操作体験



消防車両の展示



津波風水害対策用水陸両用バギーの実演



原因調査室の業務

防災北から南から・防災西から東から

「放火火災予防デー」研修会で 防災について啓発！

京都市左京消防署

京都市では、平成27年に京都市火災予防条例を改正し、放火による火災を予防するため、市民が取り組む実施事項について規定しました。そして改正した条例の公布・施行日である11月11日を「放火火災予防デー」と定めています。

京都市左京消防署では、11月11日の放火火災予防デーに、管内の自主防災会役員や消防団員等約70名に研修会を行いました。



京都市左京消防署長の挨拶

研修会では、地域で実践している放火火災防止の取組の意見交換の後、日本防災協会京都事務所長の増田氏をお招きして、「防災について」の講演をしていたきました。



日本防災協会京都事務所長の講演

講演では、放火防止対策として、車やバイクのボディカバーは防災品が有効であるという説明がありました。そして、実際に防災品と非防災品の燃焼実験をしたところ、その燃焼の違いに、皆さん驚かれていました。



防災品の燃焼実験

この研修会が終わったとき、「防災品をなるべく多く使用したい。防災品があることを他の人にも知らせたい。」という声が上がっていました。

防災北から南から・防災西から東から

市民参加の防災訓練で防災品の広報活動を行いました

甲賀広域行政組合消防本部

11月19日、当組合消防本部の構成市である甲賀市が実施した防災訓練の会場に、展示ブースを出展しました。



会場では、災害図上訓練（D I G）や避難所運営ゲーム（H U G）が実施され、多くの自主防災組織関係者や防災士の方々が参加される中、住宅用火災警報器や住宅用消火器、感震ブレーカーなどの住宅用防災機器、そして防災品の性能を示した燃焼実験のパネルなどの展示を行い、住宅防火・防災対策の重要性について

て広報活動を行いました。

見学者の中には、防災品の高い自己消火性に感心されていたり、防災物品と防災製品に違いがあることに気づいて驚かれていたりと反応は様々で、「もっと製品に種類はないのですか？」や「どこで売っているのですか？」など、皆さんからも熱心な質問をいただきました。

見学者の多くが地域のリーダーや防災関係者であったことから、それぞれの地域、自治会単位で防災品の普及推進に取り組んでいただけるよう、私たちの説明にも一層熱が入りました。

当消防本部では、今後も引き続き、市民の安心と安全を確保するため、また、近い将来発生するであろう南海トラフ地震に備えるため、住宅用防災機器や防災品の普及に力を注いでいく所存です。



防災北から南から・防災西から東から

秋の火災予防運動期間に住宅防火対策の推進

11月13日に行いました、揖斐川町役場での展示の様子です。

揖斐郡消防組合

平成29年11月9日から15日まで管内の役場、振興事務所5ヶ所において住宅防火向けパネルの展示及び防災品の実物及びパネルによる防災品の普及活動展示を行いました。

当管内でも建物火災の多くが住宅火災で、火災による死者もそのほとんどが住宅火災となっているため、住宅防火対策が重要だと考えてきました。

毎年、秋の火災予防運動期間中に「防火宣伝」と「一人暮らし老人の訪問調査」を行っていましたが、多くの住民に住宅防火をPRしようと今年はパネル等の展示による啓蒙活動を試みました。

この度、日本防災協会様より防災展示品と着火実験のパネルをご提供いただきました。

防災品を実際に手に取ることができる展示と、火を着けてその効果を見せているパネルは来訪者の目を引きました。

パネルを見て「えーこんなに違うの!?!」という声が聞こえてきました。今回の展示で少しでも防災品の普及につながれば幸いです。



◇ 防災講座

日 時：平成29年10月2日(月)

会 場：桐生市消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月6日(金)

会 場：十日町地域消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月6日(金)

会 場：奈良県広域消防組合消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月6日(金)

会 場：唐津市消防本部

◇ 全国消防長会・予防委員会

日 時：平成29年10月12日(木)

会 場：山口県・宇部市

◇ 布張家具等部会

日 時：平成29年10月13日(金)

会 場：エッサム神田ホール

議 題：(1)防災製品最近の状況
(2)防災薬剤の規制動向
(3)張替用側地の適用範囲拡大の件

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月16日(月)

会 場：大阪市西成消防署

◇ 上期業務会議

日 時：平成29年10月17日(火)

会 場：協会会議室

◇ 防災加工専門技術者講習会
(大阪会場)

日 時：平成29年10月18日(水)・19日(木)

会 場：大阪OMMビル

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月20日(金)

会 場：佐賀県消防学校

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月23日(月)

会 場：堺市消防局

◇ 重布染色加工部会

日 時：平成29年10月24日(火)

会 場：エッサム神田ホール

議 題：(1)重布染色加工部会の状況
(2)防災品ラベルの交付状況
(3)工事用シートの抜取・試買品の防災性能試験結果
(4)重布染色加工部会関連の防災表示者の定期調査結果

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月24日(火)

会 場：江別市消防本部

◇ 防災関係者表彰選考委員会

日 時：平成29年10月26日(木)

会 場：協会会議室

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月26日(木)

会 場：札幌清田区防火委員会

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月26日(木)

会 場：摂津市消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年10月27日(金)

会 場：北アルプス広域南部消防署

◇ 防災講座
日 時：平成29年10月28日(土)
会 場：奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部

◇ 防災講座
日 時：平成29年10月28日(土)
会 場：羽生市消防本部

◇ 防災ニュース編集委員会
日 時：平成29年10月30日(月)
会 場：協会会議室

◇ 防災講座
日 時：平成29年10月30日(月)
会 場：船橋市消防局

◇ 防災講座
日 時：平成29年10月31日(火)
会 場：土浦市消防本部

◇ 消防庁長官表彰式・祝賀会
日 時：平成29年11月2日(木)
会 場：明治記念館

◇ 住宅防火対策推進・ケーブルテレビ
防火広報
日 時：平成29年11月3日(金)
会 場：加古川市 グリーンプラザべふ

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月6日(月)
会 場：三角自治会

◇ 防災薬剤部会、寝具等部会
日 時：平成29年11月6日(月)
会 場：大阪 大江ビル
議 題：(1)防災製品最近の状況
(2)防災薬剤の規制動向
(3)防災薬剤認定制度の問題提起
と意見交換

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月9日(木)
会 場：上田市消防本部

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月9日(木)
会 場：実践女子大学

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月10日(金)
会 場：香川県消防学校

◇ 住宅防火防災推進シンポジウム
日 時：平成29年11月11日(土)
会 場：横浜市民防災センター

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月11日(土)
会 場：京都市左京消防署

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月12日(日)
会 場：荻田町消防本部

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月13日(月)
会 場：八千代市消防本部

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月13日(月)
会 場：浜松市消防局

◇ 防災講座
日 時：平成29年11月14日(火)
会 場：大阪市西成消防署

◇ 月例会議
日 時：平成29年11月14日(火)
会 場：協会会議室

◇ 全国消防長会・警防防災委員会

日 時：平成29年11月16日(木)

会 場：徳島県・徳島市

◇ 防災講座

日 時：平成29年11月17日(金)

会 場：蔵防火協会

◇ 住宅防火防災推進シンポジウム

日 時：平成29年11月18日(土)

会 場：岡垣サンリーアイ・ハミング
ホール

◇ 防災講座

日 時：平成29年11月20日(月)

会 場：豊田市消防本部

◇ 防災関係者表彰式

日 時：平成29年11月21日(火)

会 場：明治記念館

◇ 防災講座

日 時：平成29年11月22日(水)

会 場：仙台泉消防署

◇ 防災講座

日 時：平成29年11月24日(金)

会 場：吹田市消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年11月27日(月)

会 場：館林地区防火安全協会

◇ 防災講座

日 時：平成29年11月30日(木)

会 場：京都府立消防学校・京都市立消
防学校

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月2日(土)

会 場：猪名川町防火協会

◇ 防災製品認定委員会

日 時：平成29年12月5日(火)

会 場：協会会議室

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月5日(火)

会 場：松山市消防局

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月7日(木)

会 場：箱根町消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月8日(金)

会 場：太田地区防火安全協会

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月8日(金)

会 場：宇部・山陽小野田消防局

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月8日(金)

会 場：熊本県消防長会

◇ 月例会議

日 時：平成29年12月12日(火)

会 場：協会会議室

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月12日(火)

会 場：白河地方広域市町村圏消防本部

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月12日(火)

会 場：知多中部消防組合

◇ 防災講座

日 時：平成29年12月22日(金)

会 場：静岡県消防学校

防災物品試験番号・防災製品製品番号取得件数
平成29年10月1日～平成29年12月31日

区分	記号	品 目	件 数
防 災 物 品 等	A	カーテン	121
	B	布製ブラインド	28
	C	工事用シート	18
	D	合 板	3
	E	じゅうたん等	171
	F	防 炎 薬 剤	3
		合 計	344



区分	記号	品 目	件 数
防 災 製 品	A	側 地 類	4
	CC	ふ と ん 類	4
	DD	毛 布 類	3
	E	木製等ブラインド	1
	F	テント類・シート類・幕類	113
	G	非 常 持 出 袋	0
	HH	防 災 頭 巾 等	0
	HA	防 災 頭 巾 等 側 地	0
	HB	防 災 頭 巾 等 詰 物 類	0
	J	災 害 用 間 仕 切 り 等	2
	K	衣 服 類	0
	L	布 張 家 具 等	1
	P	布 張 家 具 等 側 地	1
	PH	張替用布張家具等側地	0
	R	自動車・オートバイ等のボディカバー	0
	S	ローパーティションパネル	2
	T	襖 紙 ・ 障 子 紙 等	3
	U	展 示 用 パ ネ ル	4
	V	祭 壇	0
	W	祭 壇 用 白 布	0
	X	マ ッ ト 類	1
	Y	防 護 用 ネ ッ ト	4
	Z	防 火 服	0
	ZA	防 火 服 表 地	1
	ZK	活 動 服	2
	ZS	作 業 服	0
		合 計	146

防災ニュースNo.213 平成30年1月25日発行
(年4回発行)
発行人 丸山 浩司
編集人 栄 文隆
発行所 公益財団法人 日本防災協会
東京都中央区日本橋室町4-1-5 共同ビル
TEL 03(3246)1661 FAX 03(3271)1692
印刷所 オフィス・ワン(有)

業種別防災登録表示者数 (平成29年12月31日現在)					
業 種	製 造 業	防災処理業	輸入販売業	裁断・施工・縫製業	計
防災登録表示者数	571	872	838	31,535	33,816